

○九州地方の地震活動

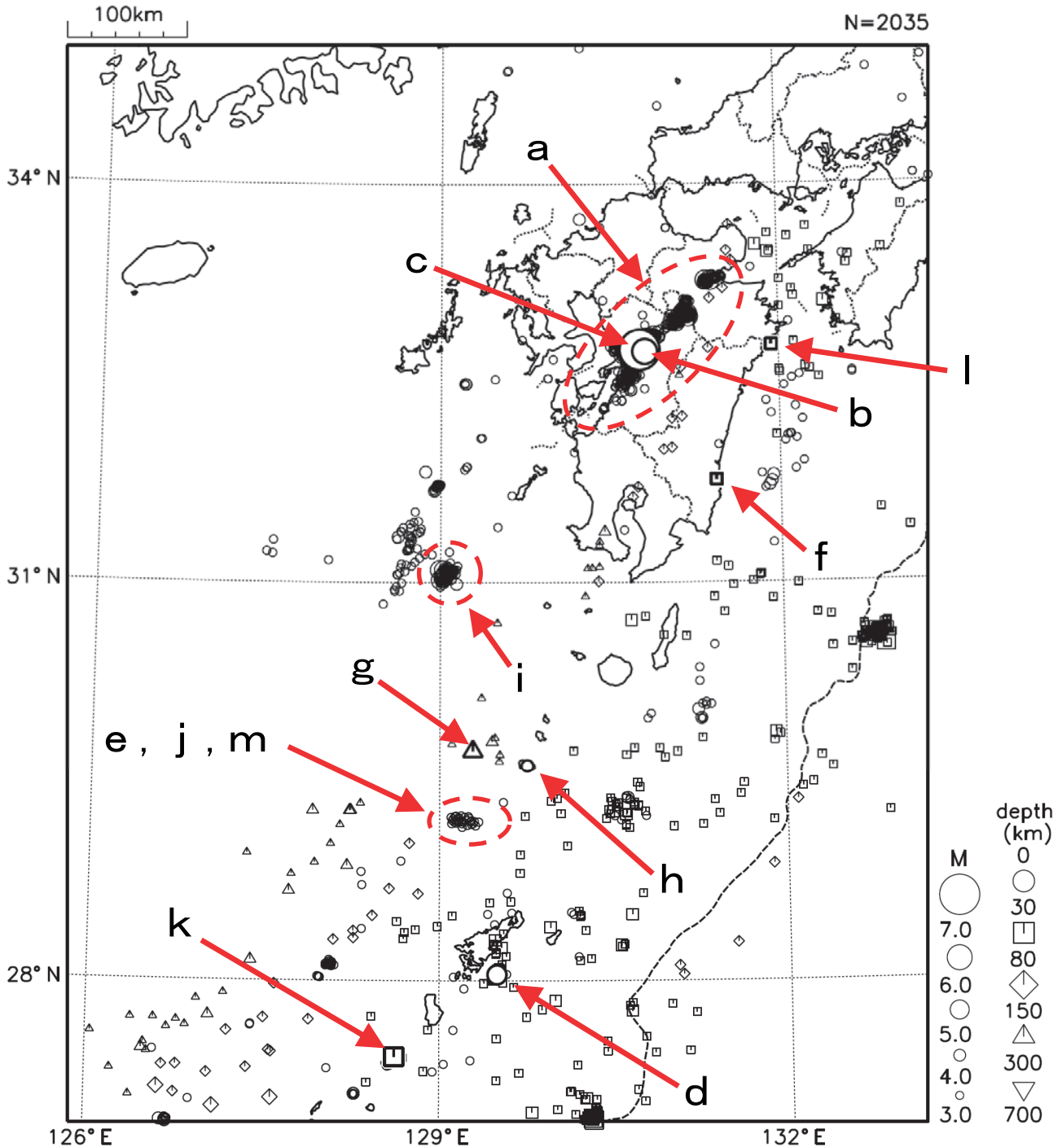


図9 九州地方の震央分布図（2016年1月1日～12月31日、M≥3.0）

〔概況〕

2016年に九州地方で震度4以上を観測した地震は147回（2015年は5回）であった。2016年中の主な地震活動は次のとおりである。

・「平成28年（2016年）熊本地震」の活動（図9中の領域a）

4月14日21時26分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM6.5の地震（図9中のb）が発生し、熊本県益城町で震度7を観測したほか、中部地方の一部から九州地方にかけて震度6弱～1を観測した。

また、この地震の震央付近では、2日後の16日01時25分に深さ12kmでM7.3の地震（図9中のc）が発生し、熊本県益城町、西原村で震度7を観測したほか、東北地方の一部から九州地方にかけて震度6強～1を観測した。その後、熊本県から大分県にかけて地震活動が活発

な状態で推移した。一連の地震活動により最大震度 5 弱以上を観測した地震が 24 回発生した。

これらの地震活動により、死者 178 名、住家全壊 8,388 棟などの被害が生じた（12 月 28 日 11 時 00 分現在、総務省消防庁による）。気象庁はこの一連の地震活動を「平成 28 年（2016 年）熊本地震」と命名した。

熊本県熊本地方及び阿蘇地方における一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも、活動は継続している。

・「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域外で発生した主な地震活動

1 月 9 日 23 時 12 分に奄美大島近海で M5.4 の地震（図 9 中の d）が発生し、鹿児島県の奄美市（奄美大島）、瀬戸内町（請島、与路島）、天城町（徳之島）で震度 4 を観測したほか、鹿児島県と沖縄県で震度 3～1 を観測した。

2 月 3 日 06 時頃からトカラ列島近海（宝島・小宝島付近）で地震活動（図 9 中の領域 e）がやや活発となり、2 月 29 日までに最大震度 1 以上を観測した地震が 21 回発生した。最大規模の地震は、2 月 11 日 03 時 46 分に発生した M3.0 の地震である。

3 月 3 日 16 時 11 分に宮崎県南部平野部の深さ 51km で M4.9 の地震（図 9 中の f）が発生し、宮崎県日南市で震度 4 を観測したほか、九州地方で震度 3～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

3 月 14 日 16 時 03 分にトカラ列島近海の深さ 224km で M5.3 の地震（図 9 中の g）が発生し、鹿児島県奄美市で震度 3 を観測したほか、高知県から沖縄県にかけて震度 2～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

4 月 24 日 22 時 27 分にトカラ列島近海で M4.2 の地震（図 9 中の h）が発生し、鹿児島県十島村（諏訪之瀬島）で震度 4 を観測した。

5 月 6 日から薩摩半島西方沖（図 9 中の領域 i）で地震活動がやや活発となり、5 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 14 回発生した。最大規模の地震は、5 月 7 日 14 時 42 分に発生した M5.5 の地震（最大震度 2）である。これらの地震活動は陸のプレートの地殻内で発生した。

7 月 4 日 11 時頃から、トカラ列島近海（宝島・小宝島付近）で地震活動（図 9 中の領域 j）がやや活発となり、7 月 31 日までに最大震度 1 以上を観測した地震が 21 回発生した。最大規模の地震は、7 月 4 日 11 時 24 分に発生した M3.9 の地震である。

9 月 26 日 14 時 19 分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ 44km で M5.6 の地震（図 9 中の k）が発生し、鹿児島県知名町（沖永良部島）で震度 5 弱を観測したほか、鹿児島県（奄美群島からトカラ列島）と沖縄県（沖縄島から久米島にかけて）で震度 4～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

10 月 22 日 03 時 33 分に大分県南部の深さ 55km で M4.4 の地震（図 9 中の l）が発生し、大分県佐伯市で震度 4 を観測したほか、中国・四国地方から九州地方にかけて震度 3～1 を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

12 月 5 日 06 時頃から、トカラ列島近海（宝島・小宝島付近）で地震活動（図 9 中の領域 m）がやや活発となり、12 月 31 日までに最大震度 1 以上を観測した地震が 55 回発生した。最大規模の地震は、12 月 21 日 20 時 34 分に発生した M3.9 の地震である。